



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 392
November
2025

トピックス

お知らせ

アジア防災会議2025が開催
されます

関係機関との協力推進

ASEAN関連会合

メンバー国との協力推進

韓国NDMIとの防災に関す
る知識交流

国際会議への参加

第5回災害関連統計作成
者・利用者専門家フォー
ラム

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2025

●お知らせ

アジア防災会議2025が開催されます

前号でお知らせの通り、2025年12月17日から19日にかけて、内閣府主催の下、アジア防災会議2025 (ACDR2025) が東京で開催されます。今年度のテーマは、「共にレジリエンスを育む：巨大災害に備えた持続可能な社会の実現へ向けて (Forging Resilience Together: Toward a Sustainable Society Prepared for Mega-Disasters)」です。

会議のアジェンダ (案) は以下の通りとなっています。

<アジェンダ> *2025年11月28日現在

第1日目：2025年12月17日 (水)

- 開会式
- パネル・ディスカッション「巨大災害への備えと持続的成長」
- ラウンドテーブル・セッション1
- セッション1「災害レジリエンスのための技術革新」

第2日目：2025年12月18日 (木)

- ラウンドテーブル・セッション2
- セッション2「包摂的な防災リスク削減の基盤」
- 閉会式

第3日目：2025年12月19日 (金)

- フィールド・トリップ*招待者のみ

本会議は、ハイブリッド形式で開催されます。すでに多くの皆様に現地参加でのご登録をいただいております。定員に達し次第、現地参加の受付は締め切らせていただきます。(※重要なお知らせ：システムの都合上、定員を超えた場合は、現地参加でのお申し込みが完了した後も、オンライン参加に変更をお願いする場合がございます。確実にご参加いただくためには、オンラインでのご参加もご検討ください。何卒ご理解、ご了承のほどよろしくお願いいたします。)

詳細は、以下のウェブサイトおよびフライヤーをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

ACDR2025ウェブサイト：<https://adrc.adrc.asia/home/acdr2025>

ACDR2025 フライヤー：https://www.adrc.asia/acdr/2025/documents/ACDR2025_Flyer_jpn.pdf



●関係機関との協力推進

ASEAN関連会合

AADMER作業計画2026-2030の発表

2025年1月より、アジア防災センター（ADRC）はASEAN防災委員会（ACDM）に対し、AADMER作業計画2026-2030（AWP 2026-2030）の策定を支援を行ってきました。AWP 2026-2030は、ASEAN防災緊急対応協定（AADMER）の任務を実施するためのASEANの5カ年戦略計画の第4次改訂版にあたります。10か月にわたる策定プロセスには、技術的・専門的な作業、ASEAN加盟国・ASEAN事務局・AHAセンターに対する調査、2025年2月～3月に実施されたACDMの3つの作業部会との協議ワークショップ、2025年5月のACDM協議ワークショップ及びASEAN災害レジリエンス・プラットフォーム協議ワークショップ（ASEANの13分野別機関が参加）が含まれます。さらに日本を含むASEAN対話国、ASEAN分野別対話国、ASEAN開発パートナー、国連機関、赤十字・赤新月社連盟、関連地域機関、多国間銀行、ASEAN機関、学界、AADMERパートナーシップグループ、市民社会組織、若者・女性・障がい者代表、民間セクターとの一連の協議ワークショップも行われました。その後、ACDMに設置されたAWP2026-2030策定作業部会との間で協議、草案作成、審議が進められ、最終的に採択のためのASEAN防災閣僚会議が行われました。



ASEANメンバー国の防災担当大臣

10か月にわたる策定プロセスを経て、AWP 2026-2030は2025年10月15日、カンボジア・プノンペンで開催された第13回ASEAN防災閣僚会議及び関連会議の歓迎式典において発表されました。AWP 2026-2030は現在、ウェブサイト（<https://asean.org/book/aadmer-work-programme-2026-2030-2/>）で公開されており、ASEAN加盟国及び広範なパートナーがレジリエントなASEANを実現するための指針となります。AWP 2026-2030は、5つの重点プログラム、15の成果目標、44の具体的成果を通じて、「災害に強い国々からなる地域。安全なコミュニティと持続可能なレジリエンスの実現に向け、国家レベルの協調的な取り組み、強化された地域・国際協力とリーダーシップを通じて、人的被害、社会的資産、環境資産における災害損失が大幅に低減される地域。」というビジョンの実現を目指します。5つの重点プログラムは、リスク評価・監視・早期警報、予防・軽減、備え・対応、レジリエントな復興、グローバルリーダーシップで構成されています。

ADRCはAWP 2026-2030の技術的・協働的な策定支援に加え、AWP 2026-2030書籍のアートワーク、策定に関する動画、3種類のインフォグラフィックなど、戦略的かつ創造的なコミュニケーションツールの開発も行いました。こうした創造的なコミュニケーションツールにより、AWP 2026-2030は関連主体に戦略的に働きかけ、ASEANのレジリエント構築に向けた社会全体の連携を後押しします。AWP 2026-2030の動画はこちらからご覧ください（<https://www.youtube.com/watch?v=1LFNkJPRMS&t=1s>）。インフォグラフィックはASEAN事務局の全ソーシャルメディアチャンネルで公開されています。

ADRCはAWP 2026-2030の技術的・協働的な策定支援に加え、AWP 2026-2030書籍のアートワーク、策定に関する動画、3種類のインフォグラフィックなど、戦略的かつ創造的なコミュニケーションツールの開発も行いました。こうした創造的なコミュニケーションツールにより、AWP 2026-2030は関連主体に戦略的に働きかけ、ASEANのレジリエント構築に向けた社会全体の連携を後押しします。AWP 2026-2030の動画はこちらからご覧ください（<https://www.youtube.com/watch?v=1LFNkJPRMS&t=1s>）。インフォグラフィックはASEAN事務局の全ソーシャルメディアチャンネルで公開されています。



AWP 2026-2030の概要

続き

AWP 2026-2030の公開に続き、関連行動計画の策定も進められます。これには「日ASEAN防災行動計画 2026-2030」、「ASEAN-国連防災共同戦略行動計画」などが含まれます。ADRCは、ASEAN加盟国および日本のレジリエンス向上に資するプロセスと活動を引き続き支援し、現在および将来にわたるASEANとの協力を通じて貢献してまいります。

第5回日ASEAN防災閣僚級会合

ADRCは、2025年10月16日にカンボジア・プノンペンで開催された第5回日ASEAN防災閣僚級会合に出席しました。会合では、「日ASEAN防災行動計画 2021-2025」に基づき実施されたさまざまな活動が報告されました。

また、日ASEAN統合基金（JAIF）の支援を受けて策定された「AWP 2026-2030」が正式に立ち上げられたことも発表されました。AWPの策定プロセスは高く評価され、非常に好意的な評価を得ました。さらに、新たに立ち上げられたAWPに基づき、「日ASEAN防災行動計画2026-2030」を策定する提案も示されました。

さらに今回の機会を活用し、ADRCは加盟各国との個別会合を実施し、協力関係の一層の強化を図りました。



日本政府代表团

●メンバー国との協力推進

韓国NDMIとの防災に関する知識交流

ADRCと韓国国家防災研究所（NDMI）のパートナーシップをさらに強化するため、両機関は2025年10月23日、神戸にて防災に関する知識共有会合を開催しました。

NDMIからは、1)チェ・ウジョン災害予防研究部長、2)イ・チフン上級研究官、3)キム・ソンサム上級研究官、4)キム・ジェジョン研究官、5)チャ・アルム研究官、6)イム・ヘソン主任研究員、7)ソ・ウンジ研究員が参加し、災害調査技術、土砂災害軽減、新興リスク、コミュニティベース復興モデルといった研究分野における最新動向と進捗について共有しました。



（左）会合の様子、（右）NDMIとADRCスタッフ

続き

ADRCからは、笹原顕雄所長、児玉美樹研究部長、塩見有美主任研究員、池田誠主任研究員、ジェラルド・ポトゥタン主任研究員が参加し、センチネル・アジア、GLIDE、客員研究員（VR）プログラム、CBDRM（住民主体の防災）+ICT（情報通信技術）、気候変動予測に関するウェビナーシリーズといったプロジェクトに関する情報を共有しました。

ADRCとNDMI は、三カ国協力（日中韓）、センチネル・アジア、台風委員会、APEC防災作業部会（EPWG）、VRプログラムなど、さまざまなプロジェクトで協力してきました。今回の知識交流は、より幅広い協力の新たな機会となりました。

●国際会議への参加

第5回災害関連統計作成者・利用者専門家フォーラム

2025年10月6日から8日にわたり第5回災害関連統計作成者・利用者専門家フォーラムが、災害関連統計に関する機関間専門家グループ（IAEG-DRS）の指導の下、オンラインで開催されました。

第5回を迎えた本フォーラムは、国連が地域パートナー機関と協力するもので国連経済社会局（UNDESA）、国連防災戦略事務局（UNDRR）、アフリカ経済委員会（ECA）、欧州経済委員会（ECE）、西アジア経済社会委員会（ESCWA）、アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）、英国保健安全保障庁（UKHSA）が共同で主催されました。本フォーラムは、a) 災害関連統計の生産者と利用者間の知識・経験交換を促進するプラットフォームを提供すること、b) 災害関連統計に関する機関間専門家グループ（IAEG）の活動、特に「グローバル災害関連統計フレームワーク」の策定に対する認知度向上、関与促進、貢献拡大を図ること、c) 災害関連統計の作成・利用改善に向けた今後の取り組みにおいて検討すべき主要な新分野を明らかにすることを目的としています。

フォーラムには政府、学界、国際機関、NGOから、ADRCを含む100名以上の代表者・専門家が参加し、各国・地域の経験の共有、技術的進展の検討、グローバル災害関連統計枠組み（G-DRSF）への関与について議論しました。

G-DRSFは、国連統計委員会に審議のため提案される災害関連統計の共通統計枠組みとして機能することが期待されています。枠組みの草案は2025年末までに協議を経て、2026年初頭に同委員会に提出される予定です。

本フォーラムでは、仙台防災枠組2015-2030及び持続可能な開発のための2030アジェンダに沿い、防災リスク軽減のための公共政策に貢献する質の高い統計の作成に向けた国際的な取り組みが再確認されました。



第5回災害関連統計作成者・利用者専門家フォーラム

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。